

	<p>発行：福山平成大学 FD推進委員会 〒720-0001 広島県福山市御幸町 上岩成正戸117-1 084(972)5001(代) fd@heisei-u.ac.jp</p>
--	---

## 目 次

授業公開 看護学部専門科目「生活習慣と健康Ⅱ」 看護学部看護学科 木場 しのぶ 講師……………	1
第1回 FD研修会報告 講師：福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ学科 上村 崇 教授 「科研費申請書作成のポイント」……………	2
科研費申請ワークショップ1……………	2
科研費申請ワークショップ2……………	2
第2回 FD研修会報告 講師：福山平成大学経営学部経営学科 江口 圭一 教授 「大学教員にとっての研究活動と研究倫理」……………	3
FD講習会報告「実用統計講座」講師：福山平成大学経営学部経営学科 福井 正康 教授……………	3
令和2年度学生による授業アンケート調査結果……………	4～8
FD関連図書コーナー新着案内……………	9
令和元年度FD推進委員会活動記録……………	10

## 授業公開

### 看護学部専門科目「生活習慣と健康Ⅱ」 看護学部看護学科 木場 しのぶ 講師

本学ではFD活動の一環として、毎年、各学科持ち回りで授業を教員に公開しています。本年度は看護学科の担当で、授業は看護学科講師木場しのぶ先生による看護学科2年生対象の「専門基礎分野：生活習慣と健康Ⅱ」でした。

当日の授業は、「治療と看護 虚血性疾患：急性心筋梗塞」で、11月11日（水）に行われました。本授業では、最新のシミュレーターを使って息苦しい息遣いを聞き、臨床現場さながらにモニター音が鳴り響くなか、心電図モニターで心臓の働きが視覚的にも見ることができ、他学科の教員も興味深く見学することができました。



今回は、新型コロナ感染対策のために一人当たりの見学時間を制限した中で行った公開授業でしたので、参加教員は例年に比べて多くはありませんでしたが、シミュレーターによるバイタルサインや心電図の変化や実際の心臓の動画を使用するなどの学生が視聴覚的に理解できる工夫がされているのがわかり、大変、参考になりました。

## FD 研修会報告

### 第1回 FD 研修会「科研費申請書作成のポイント」 講師：福山平成大学 福祉健康学部健康スポーツ科学科 上村 崇 教授

第1回のFD研修会が、7月30日（木）、健康スポーツ科学科の上村崇教授を講師に迎えて、開かれました。テーマは「科研費申請書作成のポイント」で、科研費申請についての具体的なポイントを学びました。上村先生は、まず、専門の研究領域だけでなく、教育、地域貢献、委員会などの学内の責任、という教員が関わるすべての分野が研究テーマになることを自らの研究成果を例として示されました。科研費申請については、採用率が2割から3割と狭き門ではあるが、不採用になった場合でも採用されなかった理由などが詳しく記載されるので、それを理解して、次回の申請に活かすことが大事であると、自らの不採用になったケースをサンプルとして、具体的に話してくださいました。さらに、今年度の申請に向けて互いの申請書を読みあうなどを通して申請書の精度を高めることができるように、ワークショップを開くことを提案してくださいました。



#### 第1回「科研費申請書作成のポイント」ワークショップ

8月27日（木）に科研費申請についての第1回ワークショップが開かれました。これは7月30日に持たれたFD研修会「科研費申請書作成のポイント」の中で、講師の本学健康スポーツ科学科の上村崇教授から、科研費申請についてグループワークを通して相互に学びあう機会を提案していただいたのを受けて、FD推進委員会の主催で開催されたものです。当日は14名ほどの教員が全学科から集まりました。最初に上村先生より研究テーマを普段、自分が関わっている教育や業務から横断的に探す方法や今までの研究から探っていく縦断的方法があるという説明があり、それを受けて、参加者がまず自分の教育や業務、研究を書き出し、それをもとに2グループに分かれて、最近の関心事や自分の研究テーマなどを披露し、グループメンバーからフィードバックを受けながら、具体的なテーマを探っていくという時間を持ちました。グループワークでは和気あいあいとした雰囲気の中で活発な意見の交換がなされ、予定していた時間を超過しても続けられました。



#### 第2回「科研費申請書作成のポイント」ワークショップ

10月7日（水曜日）にFD研修会科研費申請の第2回ワークショップを開催しました。第1回目のワークショップは各教員が現在取り組んでいる研究を他の教員にわかりやすく説明することを主眼としました。今回のワークショップでは各教員が科研申請書類を持参しました。各教員が他の教員の申請書類を審査員になったつもりでチェックして、コメントしていききました。「読み手に自分の研究をアピールできる申請書類」の作成に向けて、参加者で議論を重ねる貴重な機会となりました。



成に向けて、参加者で議論を重ねる貴重な機会となりました。

## 第2回 FD 研修会「大学教員にとっての研究活動と研究倫理」

講師：福山平成大学 経営学部経営学科

江口 圭一 教授



第2回 FD 研修会が10月15日(木)に開かれました。今回は研究倫理委員会の委員長、江口圭一経営学科教授を講師として「大学教員にとっての研究活動と研究倫理」という題で講演をしていただきました。大学教員にとっての研究の意義や目的、そしてその研究方法と教員にとって身近な話題から始まり、時にご自身の経験を交えながら、研究倫理の歴史的背景などについて詳しくお話しいただきました。また、看護学など医療系の研究では研究倫理のプロ

セスが厳しく求められますが、経営学などの研究では研究倫理に対する意識が医療系ほど高くないことなど、研究分野による違いがあることなどにも触れて、本学で昨年度改訂された研究倫理についてのガイドラインについても説明していただきました。

## FD 講習会報告

実用統計講座

講師：福山平成大学 経営学部経営学科

福井 正康 教授

昨年に引き続き、本年度も8月24日から26日にFD講習会「実用統計講座」を経営学科福井正康教授の指導のもとに開かれました。4日間で述べ20名の方が参加しました。この講習会は、授業改善と研究のために毎年、福井先生にお願いして実施しているもので、今年で13年目になります。初日はデータの集計と検定についての基礎統計、二日目は多変量解析の初級編、三日目は多変量解析の中級編、及び統計分析に利用される計算法についての考え方を学びました。

福井先生は、分析ソフト College Analysis を開発され、フリーソフトとしてネット上で公開しておられます。今回の講習会もこのソフトを使って実施されました。



## 令和2年度 学生による授業アンケート調査結果

### 1. 調査概要

#### (1) 実施期間

前期：令和2年7月27日（月）～8月12日（木）

後期：令和3年1月19日（火）～2月13日（土）

#### (2) 対象科目

演習・実習等の科目を除く、全科目（履修者数5名未満の科目を除く）

#### (3) 実施科目数

前期：268科目

後期：260科目

#### (4) 実施方法

▶ 学修支援システム・セレッソを用いて、授業時間内に教員の指示に従って、学生が各自スマートフォンなどを通じて回答する。

▶ アンケート集計結果は、科目毎に科目担当教員に返却。大学全体、学部・学科、学年別の集計結果は、各学部、学科に配布するとともに当FDニュースレター等で公表する。

#### (5) 設問

<授業に関する設問>

Q1-1. この授業の履修の決定や学修する際に、シラバス（授業概要）を読んだ

Q1-2. シラバス（授業概要）は、この授業の学修に役立った

Q1-3. シラバス（授業概要）の到達目標を達成できた

Q2. 受講にあたって、学修到達目標や注意事項などの説明・指導は、適切だった

Q3. この授業の進度は、適切だった

Q4. 教員の話し方は、聞き取りやすかった

Q5. 板書や視聴覚機器は、見やすかった（聞きやすかった）

Q6. 教員の説明・指導は、わかりやすかった

Q7. 教室や実習・実技の環境・設備などは、適切だった

Q8. この授業は、有意義だった

<学生の受講態度に関する設問>

Q9. この授業にきちんと出席した

Q10. 受講マナー（遅刻・早退、私語など）は守れた

Q11. 予習・復習・課題提出など、この授業に熱心に取り組んだ

Q12. この授業に対する1回あたりの平均勉強時間

#### (5) 回答方法

5段階評価 5：よくあてはまる

4：ややあてはまる

3：どちらともいえない

2：あまりあてはまらない

1：全くあてはまらない

(Q12. については、5：60分以上、4：60分未満、3：30分未満、

2：15分未満、1：全くしなかった)

#### (6) その他

科目担当教員の自由設問および自由記述欄あり。

## 2. 大学全体の結果

(上段：前期 下段：後期)

	5. よくあてはまる	4. ややあてはまる	3. どちらでもない	2. あまりあてはまらない	1. 全くあてはまらない	平均値
Q1-1 シラバスを読んだ	44.1%	38.3%	14.5%	2.3%	0.8%	3.97
	49.0%	34.7%	13.9%	1.6%	0.7%	4.05
Q1-2 シラバスが役に立った	44.6%	37.1%	16.2%	1.6%	0.5%	4.02
	49.0%	33.9%	17.3%	1.1%	0.6%	4.35
Q1-3 到達目標を達成した	42.7%	38.3%	17.5%	1.1%	0.4%	4.02
	47.8%	35.4%	15.6%	0.8%	0.4%	4.10
Q2 到達目標・注意事項の説明	57.7%	32.4%	8.7%	1.0%	0.2%	4.30
	61.1%	30.2%	7.6%	0.9%	0.2%	4.28
Q3 授業の進度	62.3%	29.3%	7.2%	1.1%	0.2%	4.37
	64.6%	28.1%	6.2%	1.0%	0.2%	4.41
Q4 教員の話し方	62.8%	26.9%	9.0%	1.1%	0.2%	4.34
	64.9%	26.8%	6.9%	1.1%	0.2%	4.39
Q5 板書・視聴覚機器	61.3%	28.3%	8.7%	1.4%	0.2%	4.31
	64.0%	27.6%	7.0%	1.1%	0.2%	4.37
Q6 教員の説明・指導	62.0%	28.6%	8.0%	0.9%	0.2%	4.35
	64.4%	27.7%	6.6%	1.1%	0.2%	4.39
Q7 教室の環境・設備・機材	62.2%	27.5%	9.0%	1.1%	0.2%	4.34
	64.8%	27.3%	6.8%	0.8%	0.2%	4.40
Q8 授業は有意義だった	64.2%	28.0%	6.7%	1.0%	0.2%	4.40
	66.7%	26.5%	5.7%	0.8%	0.2%	4.44
Q9 出席状況	82.6%	14.3%	2.6%	0.5%	0.0%	4.71
	81.2%	16.0%	2.3%	0.4%	0.1%	4.69
Q10 受講マナー	82.1%	14.7%	2.9%	0.4%	0.0%	4.70
	80.4%	16.3%	2.8%	0.4%	0.1%	4.68
Q11 授業への取り組み	69.4%	25.0%	5.9%	0.9%	0.2%	4.47
	73.2%	21.1%	4.8%	0.8%	0.1%	4.53
Q12 平均勉強時間	43.6%	33.9%	17.1%	3.8%	1.6%	3.79
	42.2%	33.8%	18.4%	4.2%	1.4%	3.77
	60分以上	60分未満	30分未満	15分未満	まったくしなかった	

### 3. 学年別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	1年	2年	3年	4年
Q1-1 シラバスを読んだ	3.93	4.01	3.95	4.09
	3.99	4.21	3.82	3.95
Q1-2 シラバスが役に立った	3.98	4.06	4.00	4.10
	4.01	4.22	3.88	4.00
Q1-3 到達目標を達成した	3.98	4.05	4.01	4.07
	4.05	4.22	3.91	3.98
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.35	4.28	4.25	4.47
	4.34	4.40	4.19	4.43
Q3 授業の進度	4.39	4.34	4.36	4.50
	4.40	4.47	4.28	4.50
Q4 教員の話し方	4.37	4.28	4.34	4.48
	4.40	4.41	4.28	4.50
Q5 板書・視聴覚機器	4.31	4.30	4.33	4.45
	4.36	4.44	4.25	4.48
Q6 教員の説明・指導	4.36	4.31	4.36	4.47
	4.39	4.41	4.32	4.54
Q7 教室の環境・設備・機材	4.35	4.33	4.33	4.47
	4.40	4.44	4.29	4.55
Q8 授業は有意義だった	4.39	4.39	4.41	4.49
	4.42	4.51	4.34	4.56
Q9 出席状況	4.79	4.67	4.67	4.56
	4.75	4.72	4.39	4.74
Q10 受講マナー	4.78	4.67	4.64	4.62
	4.72	4.71	4.44	4.75
Q11 授業への取り組み	4.51	4.45	4.47	4.34
	4.58	4.58	4.26	4.47
Q12 平均勉強時間	3.77	3.79	3.86	3.54
	3.78	3.85	3.49	3.76

## 4. 学科別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	経営	福祉	こども	健康スポーツ	看護
Q1-1 シラバスを読んだ	4.01	3.98	4.01	3.91	4.10
	4.03	3.95	4.23	3.91	4.17
Q1-2 シラバスが役に立った	4.08	4.01	4.10	3.93	4.15
	4.10	3.99	4.19	3.95	4.20
Q1-3 到達目標を達成した	4.08	3.97	4.11	3.94	4.13
	4.09	3.99	4.24	4.00	4.20
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.44	4.32	4.45	4.19	4.32
	4.39	4.32	4.48	4.20	4.45
Q3 授業の進度	4.48	4.40	4.52	4.29	4.38
	4.43	4.45	4.51	4.29	4.46
Q4 教員の話し方	4.45	4.36	4.53	4.26	4.34
	4.47	4.45	4.52	4.32	4.38
Q5 板書・視聴覚機器	4.46	4.34	4.43	4.19	4.38
	4.47	4.39	4.44	4.28	4.39
Q6 教員の説明・指導	4.44	4.31	4.46	4.28	4.33
	4.44	4.43	4.48	4.30	4.41
Q7 教室の環境・設備・機材	4.50	4.35	4.44	4.30	4.37
	4.48	4.44	4.47	4.30	4.44
Q8 授業は有意義だった	4.44	4.39	4.54	4.32	4.46
	4.43	4.46	4.55	4.36	4.53
Q9 出席状況	4.67	4.72	4.69	4.60	4.86
	4.53	4.68	4.74	4.52	4.86
Q10 受講マナー	4.70	4.67	4.71	4.62	4.84
	4.64	4.66	4.69	4.54	4.84
Q11 授業への取り組み	4.44	4.44	4.51	4.68	4.71
	4.44	4.42	4.60	4.39	4.75
Q12 平均勉強時間	3.48	3.66	3.70	3.69	4.39
	3.52	3.71	3.98	3.59	4.27

## 5. 最近3年間の平均値の推移

	H30年度		R元年度		R2年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Q1-1 シラバスを読んだ	3.69	3.80	3.71	3.90	3.98	4.05
Q1-2 シラバスが役に立った	3.74	3.84	3.76	3.94	4.03	4.07
Q1-3 到達目標を達成した	3.78	3.88	3.80	3.96	4.03	4.10
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.17	4.19	4.21	4.28	4.33	4.35
Q3 授業の進度	4.28	4.30	4.31	4.40	4.40	4.41
Q4 教員の話し方	4.29	4.30	4.32	4.40	4.37	4.39
Q5 板書・視聴覚機器	4.24	4.26	4.27	4.36	4.35	4.37
Q6 教員の説明・指導	4.26	4.27	4.30	4.38	4.37	4.39
Q7 教室の環境・設備・機材	4.32	4.30	4.33	4.41	4.38	4.40
Q8 授業は有意義だった	4.30	4.32	4.34	4.44	4.42	4.44
Q9 出席状況	4.63	4.57	4.63	4.60	4.70	4.69
Q10 受講マナー	4.57	4.50	4.56	4.55	4.69	4.68
Q11 授業への取り組み	4.23	4.19	4.22	4.29	4.47	4.53
Q12 平均勉強時間	3.21	3.16	3.24	3.22	3.73	3.77

## 6. 遠隔授業アンケート結果

後期最初から遠隔授業形式で実施した科目、また11月30日から広島県内の感染拡大防止に向けたステージがステージIからIIに引き上げられたことにより遠隔に切り替えた科目を対象に、遠隔授業について下記の7つの設問に5段階で答える形式と自由記述によるアンケートを実施しました。

実施期間：令和3年1月19日（火）～2月13日（土）

遠隔授業実施科目数：33

質問	平均
Q1 授業を集中して受けることができた	4.01
Q2 配布資料を受け取りやすかった	3.93
Q3 課題の提示や指示が分かりやすかった	3.87
Q4 教員とのコミュニケーションがスムーズにできた	3.43
Q5 課題を適切に提出できた	4.12
Q6 授業内容をよく理解できた	3.83
Q7 今回の遠隔授業について、総合的に満足した	3.74
全体平均	3.84

### 5段階評価

5：よくあてはまる 4：ややあてはまる 3：どちらともいえない 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

5段階評価の平均が3.84で、おおむね良好な結果が示されました。自由記述形式で「よかったこと」「改善してほしいこと」を質問したところ、「よかったこと」には222の回答がありました。多かったコメントは「自分のペースで行えた」「感染を心配することなく授業に集中できた」「ZOOMで教室と同じように授業が受けられた」など遠隔授業のメリットを評価するものでした。「改善してほしいこと」では107の回答があり、「すぐに教員に質問ができなかった」「テスト（クイズ、小テスト）がむずかしかった」「(WiFiの不具合などで)聞きづらかった」などがありました。また科目によっては学生たちが授業内容を理解するのにてこず



っている様子が見えました。先生方がセレッソやZOOMなどを利用して遠隔授業を効果的になされた様子がかがえた一方、学生とのコミュニケーションをとることの難しさも示されました。

## F D 関連図書コーナー新着案内

本学図書館1階の参考図書架に設置されている「FD関連図書コーナー」では、毎年多数発刊される国内のFD関連図書の中から、特に有用なものを選定・購入し、蔵書を充実させています。

新たに購入した図書の主なものは、次の通りです。自由に閲覧、貸し出しができますので、多数の方のご利用をお待ちしております。

書名	著者名	出版社
教室へのICT活用入門	藤本かおる	図書刊行会
すぐにできる！双方向オンライン授業-ZOOM, TEAMS, GOOGLE ソフトを活用して、質の高い講義と科学実験を実現	福村裕史、飯箸泰宏、後藤頭	化学同人
オンライン授業で大学が変わる～コロナ禍で生まれた「教育」インフレーション～	堀 和世	大空出版
すぐにできる！双方向オンライン授業【試験・評価編】-インターネットを活用した学習評価	福村裕史、飯箸泰宏、後藤頭	化学同人
東京大学のアクティブラーニング：教室・オンラインでの授業実施と支援	東京大学教養教育高度化機構アクティブラーニング部門（編）	東京大学出版会
大学生 学びのハンドブック [5訂版]	世界思想社編集部	世界思想社 5訂版
学びに火がともるアクティブラーニングとディープラーニング	森邦昭、鈴木有美	大学教育出版
「Google Classroom」の導入と遠隔教育の実践 [改訂版]	梅原嘉介	工学社 改訂版
研究者・研究職・大学院生のための対話トレーニング-きく、伝える、分かち合う-	加納圭、水町衣里、城綾実、方井祐子	ナカニシヤ出版
Student-centered Pedagogy and Course Transformation at Scale: Facilitating Faculty Agency to Impact Institutional Change	Chantal Levesque-bristol, George D. Kuh	Stylus Pub.
知のリーダーシップ～大学教授の役割を再生する	ブルース・マクファーレン（著） 斎藤芳子、近田政博（翻訳）	玉川大学出版部
多様性と異文化理解	東北大学教養教育院（編）	東北大学出版会
アメリカ高等教育における学習成果アセスメントの展開：生成期から模索期へ	山岸直司	桜美林大学出版会
コロナ禍の言語教育：広島大学外国語教育センターによるオンライン授業の実践	森田光宏、榎田一路	溪水社
授業改善（シリーズ大学の教授法6）	佐藤浩章、栗田佳代子	玉川大学出版部
アメリカ教育制度に学ぶ大学入試・授業のリベラルアーツ革命「学ぶ力」の引き出し方	松井範惇	PHP エディターズ・グループ
フランスの高等教育改革と進路選択-学歴社会の「勝敗」はどのように生まれるか	園山大祐（著、編集）	明石書店
「問う力」を育てる理論と実践-問い・質問・発問の活用の仕方を探る	小山義徳、道田泰司	ひつじ書房
教学マネジメントと内部質保証の実質化	大学基準協会（監修）	東信堂
良心から科学を考える：パンデミック時代への視座	同志社大学良心学研究センター（著）	岩波書店

## 令和2年度 FD 推進委員会 活動記録

令和2年	第1回委員会
6月24日	議題 1) 令和2年度活動予定について 2) その他
7月27日～8月12日	学生による授業アンケート（前期） 第1回FD研修会
7月30日	「科研費申請書作成のポイント」 講師：福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科教授 上村 崇氏
8月24日～8月26日	FD講習会 「実用統計講座」 講師：福山平成大学経営学部経営学科教授 福井正康氏
9月16日	第2回委員会 議題 1) 前期授業アンケートの結果について 2) その他
8月27日	第1回FDワークショップ「科研費申請書作成のポイント」 講師：上村 崇教授
10月7日	第2回FDワークショップ「科研費申請書作成のポイント」 講師：上村 崇教授
10月15日	第2回FD研修会 「大学教員にとっての研究活動と研究倫理」 講師：福山平成大学経営学部経営学科教授 江口圭一氏 授業公開
11月11日	「専門基礎分野：生活習慣と健康II」（看護学科科目） 担当：木場しのぶ講師
12月8日	第3回委員会 議題 1) 授業評価アンケートの改善案について
令和3年	学生による授業アンケート調査（後期）
1月19日～2月13日	第4回委員会
3月9日	議題 1) 後期授業アンケート調査結果の報告について 2) その他
3月	FD関連図書コーナー（図書館）蔵書追加
3月31日	FDニューズレター第17号発行

**編集後記** FDニューズレター第17号をお届けいたします。本年度は、まさに新型コロナに振り回された1年間でした。前期は遠隔形式での授業になり、私は右往左往、試行錯誤しながら授業をしました。幸い本学はセレッソというLMSがあり、課題や連絡をスムーズにおこなうことができました。遠隔授業形式はまだ続く可能性があり、2月下旬に行われた大学コンソーシアム京都主催のオンラインによるFDフォーラムでは、遠隔授業の手法の紹介や取り組みが数多く発表されました。FD推進委員会としては、このような新たな取り組みや変動する大学教育の流れについての情報を幅広く収集しながら、先生方のご参考になるような活動をしていければと考えております。今後ともよろしくお願いたします。最後になりましたが、皆様の本年度のご協力を心から感謝申し上げます。(KW)